

アフリカ出身・JICA 研修員による授業 大淀中学校 3 年生、ガーナとニジェールについて学ぶ

JICA 関西は、11 月 18 日（金）京都市立大淀中学校と協力し、JICA が受け入れを行う長期研修員（大学院で学ぶ留学生）2 名を講師として、3 年生を対象に異文化理解の授業を行います。

同中学校で家庭科を担当する八日市先生は、今年度 Panasonic の助成事業を活用して、年間を通じて「エネルギー問題を考える」授業を展開しており、生徒は夏休みの課題でエネルギー問題をテーマにした電子絵本を作成するなどしています。

11 月 18 日（金）には、**ガーナとニジェールの長期研修員（留学生）**を講師に迎え、アフリカ大陸各国の異文化に触れた後、12 月は同じくアフリカ大陸の一国であるマラウイで活動中の JICA 海外協力隊とオンラインで繋ぐ授業を計画しています。

今回の授業では、「エネルギー問題を考える」授業との連携も意識して、研修員の講義の中で自国の環境問題（特にエネルギーに関連して）に触れてもらうこと、生徒たちの制作した電子絵本を英語で読むのを聞いてもらい、研修員に自国の抱えるエネルギーや環境の問題を踏まえてフィードバックをもらうことも計画しています。

授業と単元（家庭科）の詳細は以下にご確認いただけます。

【日時】2022 年 11 月 18 日（金）

○3 時間目→10：45～11：35

○4 時間目→11：45～12：35

（各講師は 3・4 時間目に、それぞれ別のクラスに対し同じ内容の授業を行う）

【場所】京都市立大淀中学校

住所：〒613-0905 京都府京都市伏見区淀下津町 257-7

【内容】次ページ

(全 2 回の実施のうち、本記事は第 1 回目の授業に当たる)

段階	項目・日程	内容・目的
1	JICA 長期 研修員・出 前講座 11 月 18 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ●JICA の事業紹介(10 分:日本人教員による) ●JICA 長期研修員との交流(20 分:外国人講師による) ●エネルギーの絵本を使った交流(10 分:生徒による朗読→研修員からの感想・フィードバック) ●質疑応答(10 分) 【実施の目的】 JICA の取組や海外留学生との交流で異文化を理解し、生徒自らが社会・世界に近づき、社会・世界の形成に参画する意欲・態度を育てる。エネルギー・環境問題についての学習も行っているため、各国の地球温暖化問題に対する対策・環境問題・エネルギー事情等についても聞く。
2	マラウイと 繋ぐ 12 月 9 日 (金)	(内容一部変更の可能性あり) <ul style="list-style-type: none"> ●マラウイの文化について知る。 ●マラウイの子達と知り合い(友達)になる ●エネルギーの絵本を読み聞かせる ●マラウイのエネルギー事情について聞く ●電気と暮らし/何発電?等について話を聞く

【外国人講師について】

- Nourou Younoussou Saidou (ヌールさん) : ニジェール出身
→〇3 時間目 : 3 年 4 組 〇4 時間目 : 3 年 3 組
- Akumbutum Andrew (アンドリューさん) : ガーナ出身
→〇3 時間目 : 3 年 5 組 〇4 時間目 : 3 年 2 組

【その他】当日は JICA 関係者、生徒への取材も可能です。

※生徒の撮影については、顔がわかる写真/映像の掲載/放映が可能な生徒と不可能な生徒は事前確認し、当日はわかる形にしておく予定ですが、万全を期すため、生徒の顔がわかる写真を掲載される場合、写真のみ事前に学校側で確認させていただきたく、この点ご了承願います。映像の場合は該当の生徒(掲載不可)が映らないように学校側で生徒へ指示をします。

【取材の申込】

ご希望の場合は、11 月 17 日 (木) 正午までに以下の申込先までご連絡をお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】【申込先】

JICA 京都デスク 畑中遥 (ハタナカ ハルカ)
 TEL : 080-8506-3714 (平日 9 : 00~18 : 00)
 E-mail : jicadpd-desk-kyotofu@jica.go.jp